

「人を対象とする生命科学・医学系研究についての情報公開文書」

研究課題名：漢方医学・チーム基盤型学習の教育効果について～質問紙法による検証

・はじめに

漢方医学は、2001年に初めて医学教育モデル・コア・カリキュラムに必須科目として採録され、以後改訂が続けられています。現在、その教育内容や教授法等に課題が残されており、より医学生がわかりやすく漢方医学のエッセンスを習得できる教育法が望まれています。医学教育で多く採用されているアクティブラーニングの教育効果が知られていますが、漢方医学教育においてその有用性は明らかとなっていないようです。

今回、私たちは群馬大学医学科3年生の受講科目「主要症候と病態生理」の中で行われた漢方チーム基盤型学習（Team based learning:TBL）の教育効果を統計学的に解析し、新たな漢方医学教授法の可能性を探ります。

こうした研究を行う際には、講義・実習の際に回収した質問紙などの情報（「情報」といいます）を用います。ここでは、既に保管されているこうした情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

群馬大学医学科3年生の受講科目「主要症候と病態生理」の漢方チーム基盤型学習の際に回収した質問紙への回答を使って、漢方医学教育の教育効果を調べます。この結果から、漢方医学教育における漢方TBLの有用性について、考察します。

・研究の対象となられる方

群馬大学大学院医学系研究科において2024年11月15日に医学科3年生講義「主要症候と病態生理」のうち、漢方TBLを受けられた方のうち、質問紙に回答された133名を対象に致します。

無記名で回収した質問紙のため、対象となることを希望されない場合でも、対応することはできません。

・研究期間

研究を行う期間は学部等の長の許可日より2026年3月31日までです。

試料・情報を利用又は提供を開始する予定日は 2025 年 8 月です。

・研究に用いる試料・情報の項目

群馬大学大学院医学系研究科総合医療学で行った、漢方医学 TBL の前後で回収した質問紙を情報として用い、漢方医学の教育効果を調べます。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで対象の学生さんに余分な負担が生じることはありません。また、本研究により研究対象者となった学生さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果は漢方医学教育発展の一助になり、多くの医学生の漢方医学教育に貢献できる可能性があると考えています。

対象となる学生さんに対する謝礼はありません。

・個人情報の管理について

研究に役立てる質問紙は無記名で回収したため、氏名、電話番号など個人を特定し得る情報を含めません。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、学生さんを特定できる情報は含まれません。

この研究により得られた結果を、国内外の学会や学術雑誌及びデータベース等で、発表させていただく場合がありますが、あなたの情報であることが特定されない形で発表します。

・試料・情報の保管及び廃棄

この研究で使用する情報は、インターネットに接続しないコンピューター（保管場所：総合医療学、管理方法：鍵のかかる棚に入れて施錠する、管理責任者：佐藤浩子）で保管します。研究終了後は 10 年間保存し、保存期間が終了した後に廃棄（データ抹消ソフトで抹消）いたします。

・研究成果の帰属について

この研究によって生じた知的財産権は研究責任者・佐藤浩子に帰属します。研究に参加していただいた方に、この権利が生じることはありません。

・研究資金について

この研究を行うために必要な研究費は、総合医療学講座費によって賄われます。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

・研究組織について

この研究は、群馬大学大学院医学系研究科総合医療学・漢方研究グループが主体となって行っています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科総合医療学・准教授

氏名： 佐藤 浩子

連絡先： 027-220-7111（代表）

研究分担者

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科総合医療学・教授

氏名： 小和瀬 桂子

連絡先： 027-220-7111（代表）

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院総合診療科・助教（病院）

氏名： 平山 結佳子

連絡先： 027-220-7111（代表）

研究分担者

所属・職名：群馬大学医学部附属病院麻酔・集中治療科・講師
氏名： 三枝 里江
連絡先： 027-220-7111（代表）

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科 准教授
氏名： 佐藤 浩子
連絡先：〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-15
Tel：027-220-7111（代表）

上記の窓口では、問合せ・苦情等の他、次の事柄について受け付けています。

- （１）研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- （２）研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- （３）研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- （４）研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 - ①試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 - ②利用し、または提供する試料・情報の項目
 - ③利用する者の範囲
 - ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 - ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、お

よびその求めを受け付ける方法